

2018年3月9日

各位

株式会社北洋銀行

厚岸グリーン電力合同会社様に対しシンジケートローンを組成しました

北洋銀行（頭取：石井 純二）は、北海道銀行（頭取：笹原 晶博）、広島銀行（頭取：池田 晃治）と共同で、大規模太陽光発電所（以下、メガソーラー）の建設資金として総額 115 億円のシンジケートローンを組成し、（※）プロジェクトファイナンス契約を本日締結しました。

本事業は、厚岸グリーン電力合同会社（本社：東京都）を事業主体として、厚岸郡厚岸町に建設するメガソーラーにて発電した電力を、再生可能エネルギー固定価格買取制度に基づき北海道電力株式会社に販売するものです。

本件は、北海道の地域金融機関によるプロジェクトファイナンス型のシンジケートローン組成額としては最大規模となります。

当行では、これまでに蓄積してきたプロジェクトファイナンスに関するノウハウを活用し、PFI をはじめとした北海道経済の発展に寄与する事業に対して積極的に支援していく方針です。

（※）プロジェクトファイナンスとは、企業の信用力や担保価値に依存するのではなく、対象事業から生み出されるキャッシュフローを返済原資とする融資のこと。国内外における発電事業などの大規模な事業を対象とすることが多い。

【本件の概要】

事業名	称：厚岸メガソーラープロジェクト
事業主体	体：厚岸グリーン電力合同会社
事業地	地：北海道厚岸郡厚岸町尾幌地区（敷地面積約147万㎡）
発電規模	模：31.68MW
リード・アレンジャー	：北洋銀行、北海道銀行
コ・アレンジャー	：広島銀行
組成額	額：115億円
契約日	日：2018年3月9日
参加金融機関（五十音順）	：伊予銀行、常陽銀行、第四銀行、北都銀行、みちのく銀行

以上